

October vol.3
たよ

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

くりーんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町剣地口1番地 TEL. & FAX.0768-45-1820

地震時の最終処分場の安全性について

新潟県中越沖地震で被災した震源地近くの最終処分場の安全を確認いたしました!

7月16日午前10時13分、新潟県中越沖地震が発生し、能登半島でも震度4~5が観測されました。

連日、新聞・TVニュース等で、柏崎原子力発電所の災害状況・災害対策が、報道されていましたが、同じく震源地周辺にあります大成建設株式会社(当社株主)が施工いたしました管理型最終処分場「エコパークいすもざき」の被災状況を調査いたしました。その結果、施設の安全性を確認いたしましたので、ご報告申し上げます。

■「エコパークいすもざき」調査報告

日 時：平成19年7月23日(月)

場 所：新潟県三島郡出雲崎町大字稻川1884

応対者：財団法人新潟県環境保全事業団「エコパークいすもざき」

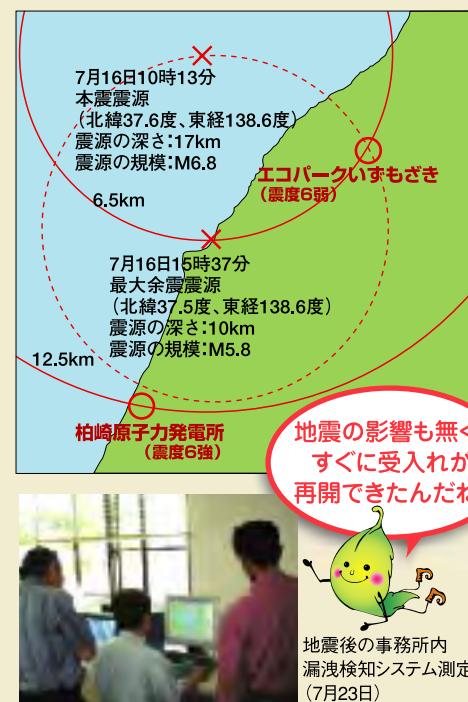
次長兼管理課長 八木茂様 (株)エコエース(管理委託会社) 河野所長様

調査者：大釜区長 宮坂一雄様、大釜地権者 扇間政美知様

大成建設 藤田治、和田直己

震災後の状況について

- ①被災日の7月16日は祝日(海の日)で休日でした。社内規定により、震度4以上は出社となっています。
- ②地震後、事業団とエコエース職員が出社し、場内等を点検しました。地割れ・法面崩壊等、異常はありませんでした。管理棟の壁に、軽微なひび割れ・器物損傷が確認されました。
- ③シートの破れについては漏洩検知システムにより確認(埋立地・浸出水調整池)しましたが、破損(自動記録有り)はありませんでした。
- ④7月18日以降、廃棄物の受入れを再開しています。
- ⑤平成16年の中越水害・中越地震と同様に柏崎市他と協議し、災害ごみの受入れを実施いたしました。



地震の影響も無く、
すぐに受入れが
再開できたんだね!

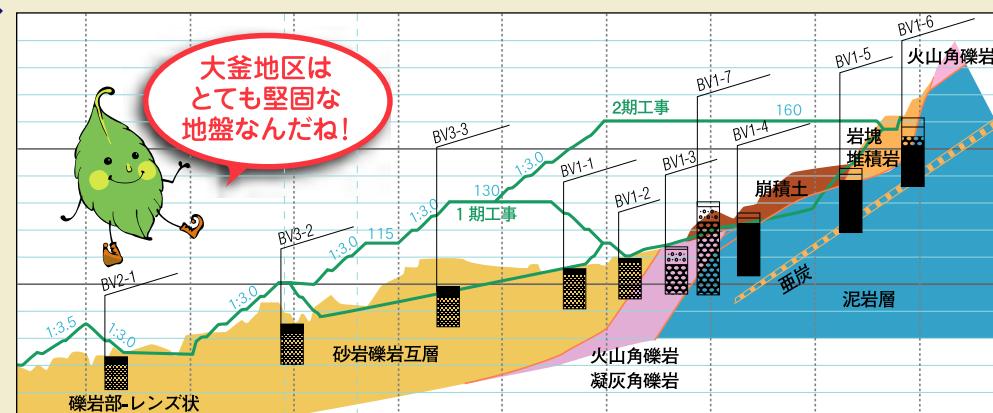
大釜地区の地盤を調査した結果、堅固な地盤を確認いたしました!(門前クリーンパーク建設予定地)

大釜地区の適地性を確認をするため、地質を先行調査いたしましたので、ご報告いたします。

地質調査報告

- ①地震を引き起こす可能性や構造物に影響を与えるような活断層は計画地周辺にはなく、計画地内には活断層及び地質断層共に文献上でも存在せず、現地調査でも確認されませんでした。(資料:人文社「日本の活断層地図」、産業技術総合研究所「地質調査総合HP」)
- ②2006年8~10月に計画地内で14箇所先行地質調査(ボーリング)を行いました。地質縦断図(右図)で示すように、計画地の基盤は、砂岩区域と泥岩区域に区分でき、両地盤とも堅固な耐力を有しています。
- ③現地植生においては、太い樹木でも直立しており、過去に地すべりが生じた形跡はありませんでした。
- ④能登半島地震では震源から約4kmと近い場所でしたが、大きな土砂崩壊被害はありませんでした。

大釜地区地質縦断図



能登半島地震後の石川県内における廃棄物最終処分場の被災状況確認

石川県内において、現在稼動している廃棄物最終処分場が、能登半島地震によって被害を受けたかどうかを石川県環境安全部廃棄物対策課に聞いたところ、「施設の安全に関わるような被害は確認されていない。」とのことでした。

みんなが気になる Q&A

これまでに寄せられた
ご質問にお答えします。

Q 埋立廃棄物はどこから運んでくるのか?

A 石川県内を中心に収集します。なお、県外から廃棄物を受入れる時は、石川県と協議して、了承をいただいたものの搬入します。

Q 一般廃棄物(家庭ごみ、災害ごみ等)は処分できないのですか?

A 今後自治体との協議を経て、一般廃棄物の許可を得られれば、受け入れ可能ですが、例えば輪島市の一般廃棄物処分場がいっぱいになってしまった本施設で受入れ事が可能となります。

Q どんな廃棄物を埋め立てるのか?

A 燃え殻などあらかじめ定められている受入対象廃棄物に限ります。
(創刊号事業概要の項参照)

Q 石川県内に最終処分場はいくつあるの?

A 現在稼動している最終処分場は、全部で26箇所です。

①産業廃棄物処分場：3箇所(管理型)
5箇所(安定型)

②一般廃棄物処分場：18箇所

最終処分場とは?その③

今回は「当社の管理体制」及び「行政の管理体制」についてご説明いたします。

信頼性・透明性の高い管理体制

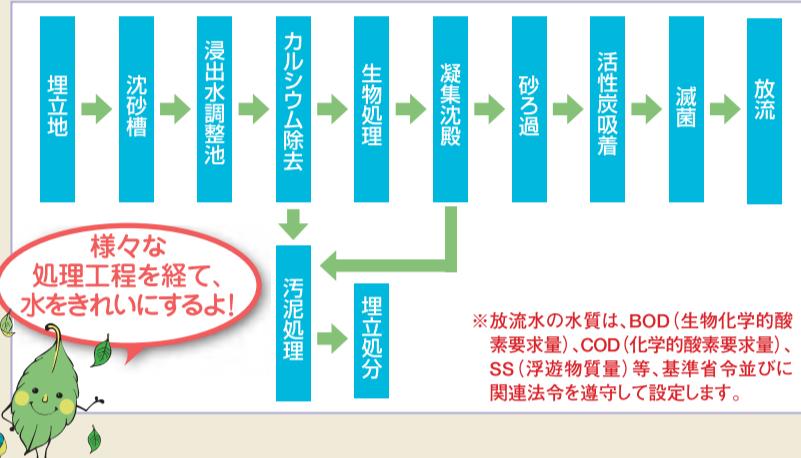
「門前クリーンパーク」の計画している処分場は、最新の管理体制で周辺環境との共生を目指した管理型最終処分場です。

石川県内を中心として搬入予定の廃棄物の事前確認、受入時の再確認・計量・展開検査など、綿密な検査を経て、埋立てられた廃棄物は自然の力で分解され、土に近い成分になるまで管理し、「自然」に帰します。

●浸出水処理設備

浸出水処理設備の浸出水処理能力は、300m³/日(第1期)。浸出水調整池容量は15,000m³(第1期)を確保します。この容量は、門前地域雨量観測所の過去30年間で、月間最大降水量を記録した1989年の日降水量(観測値)から算出した値です。

・浸出水処理フロー例(今後設計予定)



●厳重な環境監視設備

最終処分場の環境項目の監視及び計測を行うために、定期的に観測井戸や地下水集排水施設で採水して分析します。モニタリング結果は、住民の方々へ、ホームページや広報紙等で随時公開し、「開かれた処分場」を目指します。

・環境監視設備

モニタリング箇所	監視項目
地下水(埋立地上流・下流)	電気伝導率又は塩化物イオン濃度
放流水	流量、pH、BOD、SS、窒素含有量
遮水工	漏水検知システム
埋立地発生ガス	ガス量、ガス組成
埋立地内温度	温度

※測定頻度や個所数については、今後輪島市、志賀町と締結する「環境保全協定」によります。

見学会開催報告

輪島市各種女性団体連絡会様による「先進的環境施設研修会」の視察先として、ご選定いただき、8月30、31日の二日間にかけて、見学会を開催いたしました。
また、参加者からのお手紙をご紹介いたします。

管理型最終処分場や環境施設を視察して

輪島市各種女性団体連絡会 会長 平谷 康子

輪島市各種女性団体連絡会(各女連)は、7団体で結成され、各女性団体間の連絡、情報交換、資料の収集や調査を実施すると共に女性の社会的、経済的、地位向上の支援を目指して、行政に意見の具申や陳情を実施しております。

輪島市長の諮問機関として今年の4月に「産廃処分場問題検討委員会」が設置されました。私は、各女連の代表としてその委員に任命され、いろいろ勉強しながら12月の答申に向けて、熱心に議論を進めております。

そこで私たちの団体でも「大金区とはどんな所か見てみよう。」という声が上がり、3月23日に現地視察を実施しました。当時は大金区の地形図や処分場のビデオを見ると共に、大金区の宮坂区長から「今までの事業誘致の経緯など」をお聞きし、山奥で生活する苦労と過疎化により廃屋の目立つ集落に、強い印象を受けました。

ところが2日後の3月25日、恐怖の能登地震が発生し、甚大な被害が出ました。市民一同復興に向けて一丸となって助け合い、少しずつ立ち直りました。

時は止まりません。市民の間で「産廃処分場問題」についていろいろな反響が聞こえてきました。そこで私たち市民も成り行きをただ見守っているだけではなく、自ら知識を得ることが先決と判断しました。そこで各女連として研修会を計画して、「管理型最終処分場」や「先進的環境施設」の視察を(株)門前クリーンパークに申し込みました。

8月30日総勢28名で、茨城県笠間市にある管理型最終処分場の「エコフロンティアかさま」を視察しました。そこでは、事務

局長さんから管理型最終処分場の講義を受け施設を案内いただきました。現地に行くまでは、資料を見たり聞いたり、自分なりのイメージを描いていましたが、以前に見学した輪島市の処分場と現地のあまりの違いに驚きました。この施設は茨城県が設立した事業団が運営するもので、廃棄物の適正処理で環境保全、調和と安全をモットーとした施設でリサイクルを実現するガス化溶融システムも備えていました。

二日目の31日は、門前クリーンパークの親会社である(株)タケエイが運営する千葉市内の大木戸処分場を視察しました。この施設は、(株)タケエイのリサイクルセンターで残った残渣を埋め立てる安定型最終処分場です。集落に近接した処分場で、すぐ近くに民家があるのに驚きました。この施設は平成12年から埋立てを実施し、あと1年で満杯になるそうですが、既に近くに増設が決まっているそうです。何よりも建設当時に対策委員長だった田中さんより、経緯を直接お聞きし、住民と事業者との信頼関係の構築いかに重要かを痛感しました。当初は処分場の建設には住民がとても強く反対しましたが、この付近は不法投棄が続き住民は困っており、「それなら処分場をタケエイに任せてみよう」ということになったそうです。最初は心配だったが、長期間に亘り約束通りに管理して臭いや埃も無く環境に配慮した処分場運営をしてくれた結果、今では住民も協力的のことでした。次の増設予定地も、地元からお願いしたそうです。

最後は、(株)タケエイの川崎リサイクルセンターを視察しました。建設系産業廃棄物を適正処理、再資源化し、

排出基準を守り、
厳重な検査を行うことで、
「周辺環境」を守ります。



埋立廃棄物から発生する浸出水は、浸出水処理設備で排水基準に適合するまで十分な浄化処理をした後、河川へ放流し、周辺環境に悪影響を及ぼさないよう隨時監視するとともに、徹底した情報公開を行います。また法令により、石川県や輪島市による「定期的な立入り検査」と「抜き打ちの検査」等、厳重な検査が行われ、周辺住民の皆様へ安心・安全をお届けいたします。

●廃棄物の受入管理

最終処分場を適正に運営するためには、処分依頼のあった廃棄物に関して、受入れの可否を適切に判定することが重要となります。そのためには各段階で廃棄物の情報を正確に把握する必要があります。処分依頼から最終処分場内で埋め立てるまでの基本的な流れと段階ごとの可否判断を紹介いたします。

・廃棄物を埋立てるまでの基本的な流れ



●石川県・輪島市の管理体制

当社は、県営に限らなくとも、環境汚染等を生じさせないような施設、管理は可能と考えます。可能な範囲で石川県・輪島市に監督していただくことになります。また、定期的な立入り検査の結果の不良点や、住民の方等から不適切な指摘や情報があれば、さらに追加的な立入り検査を受けることになります。

石川県・輪島市の定期的な立入り検査例として、①マニフェストの確認、②水質検査データの確認、③受入れ廃棄物溶出データの確認、④放流水サンプリング、地下水サンプリング、⑤水処理プラント運転確認、⑥場内視察、埋立状況、土壌等確認など様々な検査があります。

立入り検査において不良の際には、①行政指導(厳重注意、勧告等)、②行政処分(措置命令、改善命令)、③産廃業許可取消 等の厳格な指導、処分を受けることになります。



大木戸最終処分場にて(前列左端:元対策委員長田中様)

365日24時間稼動をしているそうです。大都会ならではの大規模な工場に感心しました。90%以上のリサイクル率を実現するために、最終的には人の手で分別していました。私たちも毎日最終まで考えることなく、市の指示どおりに分別して出しているのみもっと責任を持たなければ再認識させられました。

本当に短い時間での視察研修でしたが、大変多くのことを学ぶことができ、会員の方々にとって良い経験になったことと思います。今後の当市の産業廃棄物処分場問題を考える上でも、実のある研修が出来たと感じております。

お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク 開発準備事務所

〒927-2342 石川県輪島市門前町劍地口1番地

TEL.&FAX. 0768-45-1820

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

